

## 小田原フィルハーモニー交響楽団

1958年、小田原高校の卒業生により、松尾芳郎先生を中心として誕生した市民オーケストラ。指揮者に小船幸次郎、横山健治、小林陽信、大井剛史、三河正典らを迎え指導を仰ぐ。年2回の定期演奏会のほか、地域行事にも積極的に取り組んでいる。1979年服部良一の交響詩「富士」を本人の指揮にて演奏。今までに倉田澄子、天満敦子、

山下洋輔、實川風、他と共演し好評を博す。大曲にも取り組み、第100回記念定期演奏会にはマーラーの交響曲第3番を演奏。近年、春の定期演奏会は0歳から入場できるファミリーコンサートも開催。2020年6月7日(日)小田原市民会館にて第121回定期演奏会ファミリーコンサートを開催予定。



栗田 博文  
【指揮】

**KURITA**  
Hirofumi

神奈川県小田原市出身。1988年、第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989年に渡欧。同年、第1回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール(イタリア)に入賞し国際的な評価を確立。1995年、第1回シベリウス国際指揮者コンクール(フィンランド)の最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。以後、ヘルシンキフィルハーモニー管弦楽団等に客演し、指揮者としてのキャリアを着実に積んでいる。また、国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。



花崎 薫  
【チェロ】

**HANAZAKI**  
Kaoru

小田原市出身。東京藝術大学・ベルリン芸術大学卒業。東京藝術大学在学中に安宅賞を受賞。1981年、第50回日本音楽コンクール、チェロ部門第3位入賞。後に文化庁在外研修員としてドイツ、カールスルーエ音楽大学に留学。長年にわたり、新日本フィルハーモニー交響楽団の首席チェロ奏者として、歴代の指揮者のもとで、オーケストラを支えた。現代音楽のアンサンブル、東京シンフォニエッタのメンバーとしても活躍し、2011年サントリー芸術財団、佐治敬三賞を受賞。現在、愛知県立芸術大学音楽学部教授、東京藝術大学講師。2013年、ベートーヴェン、チェロとピアノのための全作品のCDを発売。またメンバーを務めるエルデーディ弦楽四重奏団より、ハイドンその他のCDを発売している。



田中 詩乃  
【ソプラノ】

**TANAKA**  
Shino

神奈川県大磯町出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院修士課程修了。在学中、安宅賞受賞、1997年度関西フランス音楽コンクール第2位、同時に大丸賞、フランス総領事賞、関西フランス音楽協会賞受賞、第12回日仏声楽コンクール入選。これまでに、児島百代、高木浩子、故・朝倉蒼生、後藤寿子の各氏に師事。フランス歌曲を専門とした演奏活動の他、フォーレ、モーツァルト、グノー、シューベルト、ブラームス等の宗教曲のソプラノソリストを務める。また、県内外の多くの合唱団のヴォイストレーナーとしても精力的に活動している。日本フォーレ協会会員。



田中俊太郎  
【バリトン】

**TANAKA**  
Shuntarou

島根県出身。バリトン。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学大学院博士後期課程修了。声楽を森山秀俊、福島明也、ジャンニコラ・ピリウッチ、林康子の各氏に師事。英国オールドバラ音楽祭においてイギリス歌曲のマスタークラスを受講。宗教曲ではJ.S.バッハ《ヨハネ受難曲》《口短調ミサ》、G.F.ヘンデル《メサイア》、G.ヴェルディ《レクイエム》等でソロを担当。オペラではドニゼッティ《愛の妙薬》ベルコーレ、モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》タイトルロールなどを演じる。またミュージカルやエンターテインメントの舞台にも活動の幅を広げている。2017年度、三菱地所賞受賞。麻布学園非常勤講師。